



素敵な夏休みを

学校長 杉森 伸吉

今年度も、おかげさまで1学期を終えることができました。昨年度は、6月までは在宅学習、オンライン学習という教育史上でも類を見ない経験をした年でした。今年は、4月から登校できましたが、水曜日をオンライン学習デーとしたり、登校時の密を避けるために時差登校にしたりしました。様々なご協力を賜り、あらためて御礼申し上げます。昨年度は、年度当初のオンラインでのご挨拶の中でも、コロナ時代で私が大切だと考える「3つのゆ」についてお話ししました。それは、「ユーモア」、「勇気」、「ゆとり」です。国や大学などからの自粛要請に応じる中で、様々なひずみが生じ、そのしわ寄せが要請に誠実に応じている国民にもたらされるという、しんどさや、やりきれない気持ちなどが蔓延する中で、1年半近くが過ぎ、ますます私たちの受け止め方、生き方が大事になってきていると感じます。しんどい時ほど、ユーモアが大事になりますし、新型コロナを正しく恐れる勇気、精神的なゆとりも大切になります。

オリンピックは実施するのに、子どもの成長に必要な宿泊を伴う学校行事をすべて控えるようにという強い要請が学校に来たり、日本よりもはるかに被害の大きな地域でも、大きなスポーツの大会に観客を満杯に入れているのに、日本ではオリンピックを無観客にしたりと、納得しがたい様々なことがあります。これは、見えやすいリスク（感染者数・重症者数など）に敏感なあまり、見えにくいリスク（コロナ政策による心理的・経済的な被害）とのバランスを欠いていることが原因かと思います。そうした意味でも、バランスの良い考え方も重要になります。コロナ禍になって2度目の夏休みを迎えますが、各ご家庭でも、バランスの良い過ごし方やユーモア・笑いのある生活について、お子さん方とも話し合ってみられてはいかがでしょうか。

